

「はかない」と「せつない」の違いは？

「お酒は好きだ」とストレートに言わず、あえて「お酒は嫌いなほうではない」と回りくどく trying みる。それによって表現に深みが加わるところが言葉のおもしろいところです。

本書では形容詞を、会話で共感を示すときには便利でも、文章で目に浮かぶように説明をするのには不向きな品詞と考え、**文章においては「形容詞を避けることが表現力向上の基本」**であると考えます。

とくに形容詞には、

- ①概括性：大雑把な発想
- ②主観性：自己中心的な発想
- ③直接性：ストレートな発想

という、文章表現上、問題となりがちなる三つの発想が含まれます。

本書の第1部「直感的表現から分析的表現

へ」では①「大雑把な発想を排する」方法を、第2部「主観的表現から客観的表現へ」では②「自己中心的な発想を排する」方法を、第3部「直接的表現から間接的表現へ」では③「ストレートな発想を排する」方法をそれぞれ示します。

具体的には、①「大雑把な発想を排する」では「描写」「下位語」「オノマトペ」のレトリックを、②「自己中心的な発想を排する」では「数値」「背景」「感化」のレトリックを、③「ストレートな発想を排する」では「緩和」「反対」「比喩」のレトリックをそれぞれ紹介します。この**3類9種の方法**が十分に理解できれば、**形容詞に頼らない、豊かな表現力**が身につくでしょう。

現在では、Facebook の

リアクションのボタンは「いいね！」に加えて、「超いいね！」「うけるね」「すごいね」「悲しいね」「ひどいね」の五つが加わり、合計**6種類**になりました。言語設定を関西弁にすると、「ええやん！」「めっちゃええやん！」「笑たわ」「すごいやん」「悲しいわ」「そら怒るわ」になるそうです。これで、リアクションの表現が豊かになりました。

人間の身体はすごい。

→人間の身体は精巧に作られている。

以上見てきたように、「すごい」「おもしろい」「いい」「大丈夫」「けっこう」「やばい」など、よく使われる便利な形容詞のなかには、意味が抽象的であいまいになりがちなものが多く存在します。そうした形容詞は、意味の限定性の強い別の形容詞を選んだり、誤解を招かない具体的な動詞表現を用いたりすることで、**あいまいさを排除する必要があります**。そうすることで初めて読み手に正確に伝わる表現になるのです。

オノマトペとは、**擬音語・擬態語**のことです。擬音語は「バーン」のように音に似せた言葉、擬態語は「ゆらゆら」のように事物の様子をそれらしく表した言葉です。感覚的な表現で、音を聞けば状況がイメージしやすい言葉なので、細かい描写に重宝されます。

~~~~~

日本語のオノマトペはフランス語の日本語読みです。

~~~~~

お菓子売り場にはオノマトペがあふれかえっています。江崎グリコの「ポッキー」や「プッチンプリン」、赤城乳業の「ガリガリ君」や「シャリシャリ君」、森永製菓の「パッコンチョコ」や「おととと」、ロッテの「カプッチョ」や「ザクリッチ」、カルビーの「ポテトチップス ギザギザ®」、亀田製菓の「ぼたぼた焼」、カバヤ食品の「さくさくぱんだ」などがオノマトペ由来です。

オノマトペを適当な概念語に正確に「翻訳」することは不可能に近い作業です。つまり、オノマトペは、辞書で定義することがきわめて難しい言葉なのです。

子どもっぽくなるということで避けられがちなオノマトペですが、うまく使えば、言葉の生気を蘇らせる装置として有望です。また、創造性も発揮できますので、文

脈にあわせ、陳腐にならないオノマトペを、形容詞の代わりにあえて狙って使ってみるのもおもしろいと思います。

頻度を表す副詞というのがあります。頻度の高い順に示すと、

いつも>ほとんど>よく>しばしば>

ときおり>たまに>めったに>まったく

となります。

「若干名」が使われるのは、おもに何かの募集のことです。大学・大学院の入試や企業の採用のときに見ることがあります。

「若干名」は「数名」よりも幅が広いと考えられます。少ないほうで考えると、「数名」の場合、複数が前提となりますが、「若干名」の場合は1名のこともあります。ふさわしい応募がなければ、ゼロのこともあるかもしれません。「数名」はすでに見たように、通常は2~3名でしょう。

一方、多いほうで考えると、「数名」は多くても4~5名のことが多いでしょうが、「若干名」は10名近い場合もあります。常識的でないかもしれませんが、留学生に人気のある国立大学では、留学生の学部募集において、若干名の募集にたいし、合格者は二桁が普通です。留学生は定員外なので、人数を明示して募集することができないのですが、優秀な学生が応募してきたら、10名を超えてでも合格させてきた歴史があるわけです。

そう考えると、若干名というのは、募集するがわの論理の表れであり、いい人が来ればたくさん合格・採用するし、適当な人が来なければ合格・採用しないということです。つまり、合格・採用するがわのさじ加減ですべてが決まります。

みなさんは「はかない」という形容詞をどんな情景で描写するでしょうか。

散りゆく桜の桜吹雪

点滅しながら飛び交うホタル

羽化してからすぐに亡くなるカゲロウ

空高く昇っていくシャボン玉
すぐに溶けてしまう都会の初雪

こうしたものに「はかなさ」を感じます。

「はかない」という形容詞と一緒に使われやすいのは、「夢」「望み」「命」「人生」「恋」といった言葉です。

「はかなさ」を学ぶのもっともよいテキストは、旧約聖書の「コヘレトの言葉」です。齢を重ねた知者コヘレトは、すべてのものは「空しい」と言います。

「コヘレトの言葉」は『聖書新共同訳』ではこんな言葉で始まります。「エルサレムの王、ダビデの子、コヘレトの言葉。コヘレトは言う。なんとという空しさ／なという空しさ、すべては空しい。」(1:1—2) この空しいという言葉は、口語訳では「空(くう)」、また、専門家によれば「はかない」と訳することができる言葉だそうです。書のなかに無常観が渦巻いているわけです。

はかない、はわからない。むなしい、はわかる。空はわからない。

「はかない」に似た意味の言葉に「せつない」があります。むなしい気持ちを表す点では「はかない」と同じですが、ニュアンスには大きな違いがあるようにも感じます。「せつない」はどのような状況を表す言葉でしょうか。そうした状況を考えるときのコツは、それを1枚の写真にしたときにどのようなようになるかを考えることです。頭のなかに1枚の写真の絵が浮かべば、それを描写すればよいことになります。

インターネットで検索すると、さまざまな「せつない」画像がヒットします。こうした「せつない」画像を言葉にすると、次のようになります。

病院の一室で、白い布をかぶせられてベッドに横たわる娘にすがりついて号泣する母親。

(略)

「せつない」という言葉は、取り返しのつかない状況に出会ったときに口にする言葉です。もっとも深刻な「せつなさ」は最愛の人を失ったときの「せつなさ」で、

「せつない」画像にお墓が多いのはその現れでしょう。

「せつない」という言葉を使ったことが無いのは、そういう体験をしていないからか？ そういうシーンをみても、「せつなさ」を感じないからか？

「せつない」という形容詞で片付けるのは簡単ですが、大切なことは「せつない」という決めの言葉を使わず、状況をひたすら描きこむことです。取り返しのつかない状況になったとき、**自分の力ではどうしようもない状況にぶつかったときの人間の無力さや孤独感**を描ききれれば、「せつない」という形容詞に依存しなくても、「せつない」気持ちはくっきり読み手に伝わります。

形容詞は出来事の結果として生じた感情なので、その感情を表したければ、結果の原因となった出事そのものを描くしかないのです。**出来事を描いて気持ちを伝える感化という高度な技法**にぜひ挑戦してみてください。

人生はチョコレートの箱、開けてみるまで分からない。
(フォレスト・ガンプ／一期一会)

~~~~~

ガンプ夫人「人生はチョコレート箱よ。開けてみるまで何が入っているか分からない」  
Mrs. Gump: Life's a box of chocolates, Forrest. You never know what you're gonna get.

~~~~~

「否定表現」と「否定的表現」は違います。「否定表現」は「～ない」がつく表現、「否定的表現」は意味がネガティブな表現です。本章で扱ったのは、「否定的表現」ではなく「否定表現」です。肯定をするためには「肯定する」という方法だけでなく、「**否定的表現を否定する**」という回りくどい方法がありえます。「お酒は好きさだ」とストレートに言わず、あえて「**お酒は嫌いなほうではない**」と回りくどく trying。それによって表現に深み加わるところが言葉のおもしろいところです。

形容詞の場合、ネガティブな形容詞をポジティブな形容詞に変えることが可能です。

たとえば、「暗い人」は「おとなしい人」「物静かな人」に、「強引な人」は「積極的な人」「大胆な人」に、「細かい人」は「細やかな人」「よく気がつく人」に、「やんちゃな子ども」は「元気な子ども」「子どもらしい子ども」に、それぞれ言い換えられます。

現状を明るい方向に向かわせる

ためには、ネガティブな形容詞を慎む心がけが大切です。

お世話になっている上司に高いお土産を買っていったら、あとでゴミ箱に捨てられているのを見つけました。悔しいです。

別の言い方1

頼まれたものではないので仕方がないのですが、**残念な気持ち**になりました。

別の言い方2

その上司にとっては**ありがた迷惑**だったのかもしれませんが。

東京ドーム 約 4.7ha

東京ディズニーランド 51ha

皇居 約 115ha

山手線内の面積 約 6300ha

琵琶湖 67025ha

「真昼である。特別急行列車は満員のまま全速力で馳けてみた。沿線の小駅は石のやうに黙殺された。」(『頭ならびに腹』(横光利一)の書き出し)。

各駅停車しか停まらない小田急線の小駅で、ロマンスカーが通過していくのを眺めていた私の胸に、「石のやうに黙殺された」という比喩は妙に響きました。

書くという作業の最大の意義は、「時間をかけて自分

「**なりの思想を育てる**」ことにあるはず。そのためには、定型化された紋切り型の言葉からはきっぱりと縁を切る必要があります。